



みみ

# 耳かわらけ (一宮城出土遺物、一宮町教育委員会所蔵)

しんぶかん じゅうけんどうじょう た しroyama せんごくじだい いちのみやじょう しろ  
振武館 (柔剣道場) の建つ城山には戦国時代、一宮城という城がありました。

しろ ひめじじょう てんしゅかく せんごくじだい  
城といっても姫路城のように天守閣があったわけではありませんが、戦国時代はこ

しろ たたか く ひろ  
の城をめぐる戦いが繰り広げられました。

しんぶかんけんせつ しょうわ ねん しroyama いちぶ はくつちょうき おこな  
振武館建設に伴い、昭和58年(1983)に城山の一部で発掘調査が行われました。

ど き てっぽうだまどうおお こうこしりょう はっけん へいせい ねん いっかつ  
土器や鉄砲玉等多くの考古資料が発見されました。これらは平成15年(2003)に一括

いちのみやじょうしゅつどいぶつ まち していぶんかざい してい  
で「一宮城出土遺物」として町の指定文化財に指定されています。

とくちょうてき しりょう みぎ しゃしん  
特徴的な資料の一つが右の写真

みみ よ  
の「耳かわらけ」と呼ばれるもので

ちゅうせい おも きょうえん  
す。「かわらけ」は中世に主に饗宴

えんかいどう ぎしき ぎれいようどう もち  
(宴会等) や儀式、儀礼用等で用い

とくしゅ ど き みみ  
られた特殊な土器です。「耳かわら

か かたち いったい つか  
け」は変わった形をしています、一体どのように使われていたのでしょうか。



せいかい ひだり しゃしん すいへい  
正解は左の写真にあるように、水平に

はし の はしお つか かんが  
箸を乗せる箸置きとして使われたと考

じょうしゅ ちか じんぶつ  
えられています。城主やそれに近い人物

しょう おも  
が使用したのではないかと思われま

